

今年度第2号のメールマガジンをお届けします。
受験を控えた中学生へ県立高等学校の魅力ある取組など有意義な情報をお伝え
しますので、ご活用ください。
情報量が多くなりましたが、最後までお付き合いください。

なお、県立高等学校についての情報は、以下のホームページを御覧ください。
県立学校「公立高校ホームページ」
⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

■ もくじ ■

- 1 平成25年度入試に向けた公立高校情報の提供について
 - (1) ハイスクール インフォメーション
 - (2) 地区別公立高校合同説明会
 - (3) 公立高校オープンキャンパス
 - (4) 公立高校ガイドブックの掲載予定
 - (5) 公立高校文化祭日程一覧

- 2 高校の特色ある取組（各高等学校からの情報）
 - (1) 名取高等学校
＜地域と共に生きる学校をめざして ～クリーン名取～ ＞
 - (2) 亘理高等学校
＜心温まる亘理高校ハートウォームキャンペーン＞
 - (3) 仙南向山高等学校
＜向陵プランとアカデミックインターンシップ＞
 - (4) 仙台東高等学校
＜がんばろう！仙台東高 を合い言葉に＞
 - (5) 石巻好文館高等学校
＜進学型単位制で、進路実現を！＞

- 3 学校紹介スペシャル（各高等学校からの情報）
 - (1) 村田高等学校
＜スローガンは「生活に活気，学習に意欲，行動に責任」＞
 - (2) 農業高等学校
＜たくさんの方々を支えられながら、宮農の復活をめざしています。＞
 - (3) 仙台二華高等学校
＜アメリカデラウェア州ミドルタウン高校との姉妹校交流がいよいよ始まり
ました＞
 - (4) 泉松陵高等学校
＜部活動の活発な進学校＞

- (5) 古川黎明高等学校
＜スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校として新たなステージへ＞
- (6) 石巻北高等学校
＜宮城県石巻北高等学校生徒会役員より＞
- (7) 佐沼高等学校
＜貫け，文武両道。夢実現は佐高から！＞

4 コラム（各高等学校からの情報）

- (1) 水産高等学校 教諭 油谷 弘毅
＜海は怖いか＞
- (2) 貞山高等学校 主幹教諭 阿部 浩二
＜定時制課程のこと知っていますか？＞

5 お知らせ（各高等学校からの情報）

- (1) 宮城広瀬高等学校 総務部長 奈須野 文人
＜学校説明会のお知らせ＞
- (2) 宮城野高等学校
＜ここでは一人ひとりが輝きます キーワードは「創造的自由」＞

6 編集後記

■ 1 平成25年度入試に向けた公立高校情報の提供について ■

メールマガジン以外にも，公立高校のさまざまな情報を提供していきます。

□（1）「ハイスクール インフォメーション」～見つけよう 自分の目指す学び～

高校教育課では，中学生の皆さんが主体的に進路を選択し，自分の夢や志を実現できるように，いろいろな角度から情報を提供するコーナーをホームページ上に掲載しています。

ガイドブックや，合同説明会，オープンキャンパスなどの情報を得ることが出来るコーナーです。ぜひアクセスして見てください。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2012manabi/manabi.html>

□（2）地区別合同説明会

各地区内のすべての公立高校が参加して，地区別合同説明会が開催されます。説明会では，参加校が学校の教育内容や特色ある取組について15分程度説明し，その後5分程度の質疑の時間が設けられます。また，ほとんどの会場で，学校ごとの個別質問コーナーも設置されます。

来春の公立高校入試から始まる新しい入試制度についての説明，質問コーナーや高校入学後の奨学金相談コーナーもあります。

各会場の開催日時と開催会場は次のように予定されております。

本吉地区は2回の開催となります。

◇仙南会場	6月30日(土)	10:00~15:40	白石高等学校
◇仙台会場	7月14日(土)	10:00~15:30	仙台二華高等学校
◇大崎会場	7月7日(土)	10:00~15:25	大崎合同庁舎
◇登米会場	7月7日(土)	10:00~13:00	佐沼高等学校
◇栗原会場	7月8日(日)	10:00~13:30	築館高等学校
◇石巻会場	7月8日(日)	9:40~14:20	石巻専修大学
◇本吉会場	7月21日(土)	10:00~15:00	気仙沼高等学校
〃	7月28日(土)	10:00~15:00	〃

事前の申込は必要ありませんので、中学生の皆さん、保護者の皆様の多くのご来場をお待ちしております！

参加校や説明順番等はホームページに掲載のある実施要項で確認して下さい。

各会場とも駐車スペースに余裕がありませんので、公共交通機関での御来場に御協力下さい。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/>

[koukyou/10_教育指導班/2012_goudousetumei/soudan001.html](http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/10_education_guidance_class/2012_goudousetumei/soudan001.html)

□ (2) 公立高校オープンキャンパス (学校説明会・一日体験入学)

今年度も夏休みを中心に、各高校においてオープンキャンパス(学校説明会・一日体験入学)が開催されます。教育内容の詳しい説明や施設見学、さらには模擬授業や部活動体験など、各学校が工夫を凝らしたプログラムを準備しています。

一つの学校に限らず、多くの学校のオープンキャンパスに、ぜひご参加ください。

高校ごとの開催日時や実施内容、申込方法などは、高校教育課のホームページに掲載しています。高校によってはパソコンや携帯電話からも申込が可能です。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2012opc/opc001.html>

□ (3) 公立高校ガイドブックの掲載

今年度(平成24年度)のガイドブックを作成します。

学校の特色や進路情報だけでなく、入試情報や行事などへの取組み風景を写した写真も多く掲載し、受験生にとって有益な情報が満載です。7月上旬までには高校教育課のホームページに掲載する予定です。しばらくお待ちください。

平成23年度版が現在掲載中ですので、参考までにご覧ください。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2011guide/index01.html>

□ (4) 公立高校文化祭日程一覧

夏から秋にかけて、今年も高校の文化祭が開催されます。生徒が中心となって、文化部のステージ発表や展示発表、模擬店の開催など、各学校とも趣向を凝らした

イベントが行われます。高校生の校内での活動を知る絶好の機会です。

高校教育課のホームページに、開催日時の一覧を掲載していますので、ぜひ訪れて、普段の学習生活だけではない一面もご覧ください。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2012manabi/Bunkasai List.pdf>

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高등학교の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ (1) 名取高等学校

| <地域と共に生きる学校をめざして ～クリーン名取～ >
|

名取高校は岩沼市の閑静な住宅街に位置する学校です。本校の創立当時の写真を見ると、学校の周りは田んぼや畑で住宅は数軒程度しかありません。しかし今、学校の周りには多くの住宅が建ち並び、当時の面影は全くと言っていいほど無くなっています。地域の移り変わりとともに本校も学科改編など様々な歴史を重ねてきましたが、常に地域の方々から変わらぬ多くのご支援とご理解をいただき、来年（平成25年）創立90周年を迎えることとなりました。

本校では地域の方々への感謝の意味を込めて月2回「クリーン名取」という環境美化運動に取り組んでいます。各クラス年1回、4班に分かれ、LHRの時間や放課後、手にゴミ袋や火ばさみを持ちあらかじめ割り当てられた学校周辺の担当地域のゴミ拾いをおこないます。普段、お世話になっている地域の方々への恩返しと、自らの奉仕の精神を養うことが目的ですが、時には地域住民の方々と協同で作業することもあり、貴重な交流の場ともなっています。名取高校はこれからも「クリーン名取」を続け、地域とともに生き、成長していく学校をめざします。

→<ホームページはこちら> <http://www.natori-h.myswan.ne.jp/>

□ (2) 亶理高等学校

| <心温まる亶理高校ハートウォームキャンペーン>
|

本校の所在する亶理町は海に面しており、昨年の震災により沿岸部に大きな被害を受けました。自宅が被災した生徒も多く、一時は800人を超える避難者が本校体育館で生活していました。そんな状況の中、自らも被災した生徒が中心となって、心温まる活動を通して亶理町に元気を取り戻そうと、様々な取組を行いました。

①吹奏楽部避難所演奏会

本校体育館が避難所になっていたことから、そこで生活されている方々に少しでも元気を届けられないかと、吹奏楽部が中心となって昨年6月に演奏会を開催しました。

②町内清掃ボランティア

「通学路をきれいにしたい」という呼びかけのもと、生徒会役員の生徒が中心となって、自発的な朝の清掃活動を行いました。電車で通学する生徒などがゴミ袋等を持参で駅に集合し、学校までの通学路のゴミ拾いを行いました。

③仮設住宅プランター花配布

本校周辺には隣接する約200戸の仮設住宅があり、そこに花を飾ることで被災者の方に少しでも心の安らぎを感じてほしいと、本校の普通科園芸コースの生徒が中心となり、栽培する花をミニプランターに植えて配布しました。

これらの活動はみやぎ高校生マナーアップキャンペーンと連動し、生徒の思いやりの気持ちやマナーの向上につながっており、社会貢献に対する意識の高揚がみられています。

→<ホームページはこちら> <http://watari-h.myswan.ne.jp/>

□（３）仙台向山高等学校

| <向陵プランとアカデミックインターンシップ>

仙台向山高校では、将来の希望を実現する力を育むため、自分と学問・社会とのつながりを自覚し、主体的な進路選択を促す活動を「向陵プラン」とよび、総合的な学習の時間を中心に展開しています。

1年次は「社会とつながる」をテーマとして、現代社会における諸問題について知識・考察を深め、社会における仕事の役割や貢献を認識します。2年次は「学問とつながる」をテーマとして、自らが希望する学問分野を調べ、大学を舞台に「アカデミックインターンシップ」を行います。自らが学ぼうとする学問分野がどのように社会とつながっているのかを確認します。3年次は「自分とつながる」をテーマとして、共通する学問分野について最先端の状況やトピックスなどについて理解を深める課題学習「サクセスタイム」をグループごとに行います。志望学問分野に対する興味関心をより強いものとし、進路意識を高めます。

「アカデミックインターンシップ」は、夏季休業中に2年生の希望者を対象として連携大学で3日間行われる学問とつながるための実践活動です。大学における日常の研究活動を体験することにより、大学で学ぶことの意義を見つけ、学びそのものに対する興味・関心をより強いものとすることで、進路を決定する際の参考となります。

仙台向山高校は、3年間を見通したキャリア教育が確立しており、見通しをもって学び、主体的に自己を実現する力の育成に努めています。

【平成24年度 学校説明会】 日時：7月7日（土）9：30～
会場：仙台向山高等学校 体育館

→<ホームページはこちら> <http://mukaiyama.myswan.ne.jp/>

□（４）仙台東高等学校

| <がんばろう！仙台東高 を合い言葉に>

上下紺色の上品な新制服を身につけた新入生を迎え今年度の仙台東高が始まりました。本年度は1年生の制服だけでなく、授業時間も55分に変更するなど学校生活も大きく変わりました。またクラスの団結を高める運動会を4月早々に初めて行うなど新たな行事も加わりました。

6月30日に実施予定のオープンキャンパスのポスターにも載せましたが、本年度の東高校のスローガンは「がんばろう！仙台東高」です。

オープンキャンパスでは、新しい内容として参加者全員に本校教員による体験授業を経験してもらいます。多くの中学生の参加をお待ちしております。

→<ホームページはこちら> <http://higasi-h.myswan.ne.jp/>

□（５）石巻好文館高等学校

｜　　＜進学型単位制で、進路実現を！＞

本校では、平成２２年度入学生から「進学型単位制」を導入しています。これは、生徒の実態、理解度、希望などに沿い、きめ細やかな対応や指導を通して、一人ひとりの進路希望を実現させようという思いから導入したものです。

「進学型単位制」では、生徒たちは、多様な選択科目から自分の進路希望に沿った科目を選択して学習してゆくことになります。

入学後の２年間は、あらゆる進路に対応できるように、必修科目を中心とした幅広い科目を勉強します。特に、英数については少人数による授業を展開し、一人ひとりに目の届く、丁寧な指導をします。

３年次にはいよいよ、自分の希望に沿って選択した科目を中心に、進路の実現に向けた学習に集中していきます。本校生の学習意欲は非常に高く、放課後や休日にも、学校で真剣に学ぶ姿がよく見られます。

本校では、大学入試に合格する学力はもとより、社会人になっても必要な力や、自ら伸びていこうとする態度を身につけることを目標にしています。深く学びたいという生徒、幅広く学びたいという生徒が充実した学びができるような環境を整え、好文館はさらに一段階進化します。

→＜ホームページはこちら＞ <http://koubunkan.myswan.ne.jp/>

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□（１）村田高等学校

｜　　＜スローガンは「生活に活気、学習に意欲、行動に責任」＞

本校は、平成７年度に県内で最初に「総合学科」が設置された学校です。生徒の多様な進路希望に対応した選択教科を揃えるとともに、工業・商業・介護福祉等の実習施設も充実しています。平成２４年３月の卒業生は、厳しい社会状況の中でも健闘して進路決定率１００％を達成しました。１学年３クラス（１２０名）の比較的小規模な学校ですが、その分一人ひとりの生徒とじっくり向き合うことができ、アットホームな雰囲気の中で厳しくも懇切丁寧な教育を進めております。

１年次には総合学科の特色とも言える「産業社会と人間」の授業が行われ、職業人講話や社会人インタビュー、職場見学、地域ボランティア体験等を通して自分の生き方・在り方や地域へのかかわり方について深く考えます。そこから自分のライフプランを作成し、「私のライフプラン発表会」で他の生徒や保護者、地域の方々に自分の夢や志を発表します。２・３年次には各々の進路希望に合った専門教科に取り組み、例えば自動車系列では「国家３級自動車整備士受験資格」取得を、介護福祉系列では「介護職員基礎研修課程」修了を、商業実践系列では「簿記実務検定」や「電卓計算能力検定」取得を目指します。また、昨年度２年生男子が宮城県初の国家技能検定「量産型自動車エンジン組立て作業」に合格しました。本校では勉強と部活動の両立を目指して頑張る生徒を、今後も積極的に応援してまいります。

→<ホームページはこちら> <http://murata-h.myswan.ne.jp/>

□ (2) 農業高等学校

| <たくさんの方々を支えられながら、宮農の復活をめざしています。>
|

東日本大震災による被害のため、名取市広浦の地を去らざるを得ず、現在は宮城県農業・園芸総合研究所敷地内に仮設校舎を建設し、施設・農場をお借りして授業を実施しています。

震災後、たくさんの方々から支援を頂いておりますが、最近の出来事をいくつかご紹介いたします。

- 復興さくら育樹。地元ロータリークラブより桜の苗木200本を寄贈していただきました。新校舎完成の折には復興のシンボルとして移植される予定です。
- カルビー・カゴメ(株)による連携授業。おなじみポテトチップスの会社ですが、ジャガイモの植え付けから収穫、加工販売までの工程を体験学習します。目標は自分たちが栽培したジャガイモで新商品!
- (株)クボタの協力により、種籾への鉄コーティングを用いた直播栽培の特別授業が実施されました。また、被災地下増田地区の農家で、クボタの新開発機械を使った種もみ直播のお手伝いをしました。
- 仙台日独協会や眞露株式会社、仙台ロータリークラブよりたくさんの方々の支援を頂きました。マイクロバス、ノートパソコン、水稻乾燥調整施設機械、フォークリフト、ホイールローダー、播種機、その他多くのもを頂きました。

今回はごく一部の紹介ですが、たくさんの方々に支えられ、宮農は完全復活を目指して頑張っています。

→<ホームページはこちら> <http://miyanou.myswan.ne.jp/>

□ (3) 仙台二華高等学校

| <アメリカデラウェア州ミドルタウン高校との
| 姉妹校交流がいよいよ始まりました>
|

豊かな心と高い知性を持ち、21世紀の世界を舞台に活躍することができる人材の育成を目標に、本校はユネスコ・スクールの指定を受け、「地球環境」をテーマとして、学び・考え・行動できる力を養います。

平成24年3月に、本校はアメリカのデラウェア州に20名の生徒の訪問団を派遣し、ミドルタウン高校と姉妹校となる議定書に調印しました。生徒達は3月17日~3月28日の12日間の日程で、現地の生徒の家庭にホームステイをし、現地の高等学校に通って一緒に授業を受けました。また、日本文化を紹介する文化交流を行ったり、現地の小学校を訪問したり、大学見学を行うなど大変充実した研修活動を行いました。さらに今回は、東日本大震災の義援金を送ってくれたデラウェア州知事を表敬訪問し、知事に英語で感謝の言葉を伝えてきました。ミドルタウン高校の生徒達は、7月に来日を予定しています。今後は生徒が中心となって自分たちらしい「おもてなし」の準備を進めます。姉妹校交流によるホームステイ研修は毎年行われ、この相互交流はIS(インターナショナル・スタディ)とSR(サイエンティフィック・リサーチ)とともに、仙台二華の特色ある取組になっていきます。ますます充実した仙台二華の詳しい取組については7月29日(日)のオープンスクールでお伝えいたします。また、ホームページにも掲載されておりますのでご覧ください。

→<ホームページはこちら> <http://nika.myswan.ne.jp/>

□ (4) 泉松陵高等学校

| <部活動の活発な進学校>

泉松陵高校は毎年9割以上の生徒が進学を希望しており、教育課程も生徒の進路希望100%達成を目標に編成しています。泉松陵高校の特徴的な取り組みとして、『進路別クラス編成』や『65分、5時間授業』、2週に1度の『PT (Power-up Time) テスト』(定着度テスト)などがあります。このほかにも特色あるカリキュラムの編成や、系統的な進学ガイダンスを実施して、大学・短大進学を目指す進学指導等に対して徹底した情報提供と指導を展開しています。

また「部活動の活発な進学校」を目指した取り組みとして今年度から「部活動の日」を新たに設け、生徒も教員も部活動を行い学校全体が非常に活気あふれています。

各部の成績の一部を紹介します。陸上競技部は男子400MHで10, 11, 12年度に東北大会に出場し、弓道部は06, 07, 09, 10年度にインターハイに、11年度には国体に出場しました。そのほかにも多くの部活動が華々しい成績をおさめています。

部活動は続けたいけれど高校の勉強について行けるか不安・・・そう思っている中学生のみなさん、泉松陵高校で文武両道を目指しませんか？学校全体であなたをサポートします。

→<ホームページはこちら> <http://shoryo.myswan.ne.jp/>

□ (5) 古川黎明高等学校

| <スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校として新たなステージへ>

古川黎明中学校・高等学校は、併設型中高一貫教育校となって8年目。中高あわせて960名がともに学び、学習・部活動・行事・生徒会活動にお互いを高め合いながら取り組んでいます。特に、中高一貫の特色を生かした体育祭・文化祭などの行事は、毎年大いに盛り上ります。

今年度からSSHに指定され、ユニークな教育課程のもと、課題発見力、課題解決力、情報収集力、情報発信力、創造発想力の育成に力を入れています。これまで、ノーベル賞候補とも言われる東大の浅島先生、たびたびテレビで地震解説をされている東北大の今村先生など、多くの先生方にいろいろな場でご講演を頂きました。また、スカイプ中継を利用したのオーストラリアの高校との同時日食観察、地球深部探査船「ちきゅう」からの中継、また、電子顕微鏡のデモンストレーションといったさまざまな活動を通して生徒たちは科学への興味関心を高めてきました。今後の予定としては、沿岸部の高校との交流、JAXA、東大地震研究所といった国内施設見学、イギリス、ベルギー、アメリカ等海外への生徒派遣など、様々な取り組みが計画されています。

一昨年、昨年とで、一貫生の一期生、二期生が卒業し、新たなステージを迎えた本校は、SSH指定校として更なる一步を踏み出そうとしております。校内のあちこちで本校の伝統である「おはようございます」(昼夜にかかわらず)の挨拶が飛び交う活気に満ち溢れた学校が、さらに、生き生きとした、生徒にとっても先生にとっても魅力ある学校へとバージョンアップしています。

→<ホームページはこちら> <http://freimei-j.myswan.ne.jp/> (中学校)
<http://freimei-h.myswan.ne.jp/> (高等学校)

□ (6) 石巻北高等学校

| <宮城県石巻北高等学校生徒会役員より>
|_____

本校は旧河南高校から総合学科をもつ高校として生まれ変わり、校名を変更して3年目となります。本校で学ぶ生徒は1年次で将来への大まかな進路を定め、2年次で5つの系列(コース)に分かれ学びます。系列についての主な学習内容は次の通りです。

- 食農系列では農作物や草花の栽培、経営に関する知識・技術の習得を目指します。
- 家庭系列では、福祉、食物、被服などの家庭科に関する様々な知識の学習や地域の施設を訪問しての体験学習を行います。
- 経情系列では経営、経理、販売の基本を学習し、コンピューター、ビジネスマナー、経営全般の専門知識を深く学びます。
- 教養系列では、普通教科や一般常識を幅広く学習し、一般企業が求める知識、資格等の習得を目指します。
- 進学系列では、進学に向けて、人間、社会、自然に関する知識を深く理解し身につけることで、大学進学をはじめとする上級学校や公務員合格を目的とします。

さらに、今年度新たにスタートした企画が交流ひろば「と・ら・ま・い」の運営です。本校で収穫した農作物や食農系列で加工した食品を販売します。店舗経営には、食農系列でなく、家庭系列や経情列等、他系列の生徒も関わります。本校生徒だけでなく、近隣に住む方々も多く来店され、あつという間に商品は売り切れる程の盛況振りです。

この他にも、部活動や学校行事はもちろん、ボランティア、課題研究等にも意欲的に取り組んでいる本校は、貴重な高校3年間で充実したいと考える人にはピッタリの学校です。

→<ホームページはこちら> <http://ishikita.myswan.ne.jp/>

□ (7) 佐沼高等学校

| <貫け、文武両道。夢実現は佐高から！>
|_____

佐沼高校は、「文武両道」の校是のもと、一人ひとりの生徒がそれぞれの進路目標に向かってひたむきに学習や部活動等に励んでいます。昨年度の国公立大学合格者は61名。インターハイや全国総合文化祭に数多くの生徒が出場しました。

①文武両道の取り組み 学習面

佐沼高校では、20年度から、毎日45分×7時間の授業を行っています。どんな進路を希望するとしても重要になる英語・数学・国語の各教科には特に力を入れています。この3教科では、授業時間数を通常より増やしているだけでなく、少人数や習熟度別編成による授業も行っているため、密度の濃い学習ができます。

また、授業に加えて、応用力をつけるための課外講習などもあります。全学年対象で、年間を通じて月に2回程度行われている「土曜課外」。夏、冬の長期休業中の課外、3年生の県総体終了後から行われる毎日2コマの「放課後課外」その他にも、1・2年生を対象にした「学習合宿」では仙台から予備校の講師を招いて「予備校連携課外」が行われます。

②文武両道の取り組み 部活動

昨年もボート競技部（女子舵手付クオドルプル）はインターハイに出場し、今年の4月15日に行われた第81回早慶対校競漕大会にも招待されました。陸上競技部は、棒高跳び、男子やり投げ、女子100M・200M、女子4×100MRで東北大会に出場します。ラグビー部の6名の部員は、今年4月に東京で行われたジャパンセブンズ（7人制ラグビー）で他校との混合チームながら全国優勝しました。文化部でも美術部と箏曲部が富山県で行われる全国総合文化祭に出場します。この他、どの部も県総体や各種大会・発表会等に向けて熱心に活動していますので、今年もきっとすばらしい成績を残してくれると思います。そして、部活動を通して「チームワーク」や「自分たちでよりよい練習計画を立てること」など、成績や結果だけでなく多くのものを手に入れることができるのです。

③文武両道の取り組み 学校行事

佐沼高校は、学校行事の盛んな学校です。「陸上大会」「球技大会」「佐高祭（文化祭）」は「三大行事」と呼ばれ、大きな盛り上がりを見せます。毎年「三大行事」に向け、生徒会役員や実行委員を中心に、毎年「去年以上に盛り上がる、もっとよい行事にしよう」と自分たちで考え、行動しています。昨年は、東日本大震災の影響で、2日間で「陸上大会」と「球技大会」を実施しましたが、今年は例年どおり、4月25日に熱気と歓喜に満ちあふれた「陸上大会」が行われ、「球技大会」は2日間の日程で7月3日・4日に実施します。佐高祭は8月26日（日）が一般公開となっていますので、たくさんの皆様の来校をお待ちしています。

④文武両道の取り組み 生徒の頑張りを支える環境

放課後の職員室前。廊下には机が並び、手元を明るくする照明があります。多くの生徒が遅くまで自習しています。わからないところは、積極的に先生方に質問する姿も見られます。この放課後の学習は佐沼高校の伝統ともいえるもので、先輩方の姿が後輩たちに引き継がれています。

佐沼高校には、登米市内を中心に、広範囲から生徒が通学しています。通学手段として大きな役割を果たしているものに市民バス（100円バス）があります。朝の通学時はもちろんのこと、部活動後の下校時（19時台）にも運行され、多くの生徒が利用しています。

→<ホームページはこちら> <http://sanuma.myswan.ne.jp/>

■ 4 コラム ■

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い、最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□（1）水産高等学校 教諭 油谷 弘毅

| <海は怖いかな>

あの震災以来、「海はとても怖いもの」と思っている方も多いのではないのでしょうか。想像を超える自然の力の前に、私たちは、なすすべもありませんでした。あの日のことを思い出すと、とても悔しくてならず、また、海を恨み、海がとても怖いものだと感じました。

震災により、海も大きな傷を負いました。地形は変わり、そこに棲んでいた生き物たちは流され、海は一時、死んだような状態になってしまったのです。しかし、今、海は確実に回復しています。変化した環境下でも、生き物たちは一生懸命に生き、その姿を私たちにを見せてくれています。そして私たち人間も海との関わりを徐々に取り戻してきています。

さあ、みなさん。今年の夏は、海に目を向けてみませんか？生き物たちの力強さを感じ、海と私たちの生活がどのくらい密接にかかわっているか、考えてみませんか？

水産高校では今夏、皆様に日頃の学習内容を紹介するとともに、「海について考えてもらいたい」という思いを込めて「オーシャンキャンパス」を開催します。このイベントで皆さんがもっと海を知り、海に親しんでもらいたいのです。

具体的には大型実習船「宮城丸」の乗船（要予約、定員50名）や小型実習船での万石浦クルージング、海の生き物の観察などなど、海を学びの場としている私たちの授業の様子をちょっとだけ体験することができます。（詳しくは本校のHPで！）

宮水では、海を侮らず、海を恐れず、でも、海は「怒ると怖い」お母さんの存在として接し、その偉大さも学んでいるのです。

→<宮水ってこんな勉強するんだ！オーシャンキャンパスについてはコチラ>
<http://miyagisuisan.myswan.ne.jp/>

□（2）貞山高等学校 主幹教諭 阿部 浩二
| <定時制課程のこと知っていますか？>

本校は定時制課程の高校です。みなさんは、定時制というと「夜間に授業をする学校」と思っていますか？

定時制課程とは、「夜間その他特別の時間または時期において授業を行う課程」をいいます。本校では、昼間部と夜間部の二部に分かれて授業を行っています。

定時制高校では、一日4時間授業が標準のため、通常4年間での卒業となりますが、本校では、1日10時間の授業があり、昼間部授業（1～4校時）と夜間部授業（7～10校時）の間にある「併修時間帯」（5・6校時）の授業を受けることにより3年でも卒業ができます。3年で卒業する割合は、昼間部で7割以上、夜間部では3割程度です。

また、本校は他の学校と違って、学年制ではなく単位制をとっています。単位制高校とは、「学年による区分を設けなくて、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高校」のことをいいます。卒業するためには74単位の修得が必要です。

なお、単位の一部については、授業時間以外のボランティア活動などによっても習得が可能です。

→<ホームページはこちら> <http://teizan.myswan.ne.jp/>

■ 5 お知らせ ■

高等学校からのさまざまなお知らせのコーナーです。

□（1）宮城広瀬高等学校 総務部長 奈須野 文人
| <学校説明会のお知らせ>

7月28日(土)に本校の学校説明会があります。今年度は、例年とくらべて変更した点があります。

- ① 中学生の皆さんの志望校の選択に早めに対応したいということで、例年の8月下旬から1ヶ月早めて7月下旬(7月28日)に開催することにしました。
- ② 開催日が梅雨がまだ明けない時期ということで、天候に左右される可能性もあるため、部活動については見学のみとしました。ただし、見学時間は十分にとってありますので、ぜひ気軽にお立ち寄り下さい。

(申込については県高校教育課のホームページをご覧ください。)

6月上旬に行われた県高校総体では、弓道部男子団体が県で2位となり東北大会出場、同じく女子個人で県2位の結果を残し、東北大会さらにはインターハイへ出場することになりました。国体の代表選手にも選考されています。その他、男子バスケットボール、女子ハンドボールがベスト8、女子サッカーがベスト6、男子ハンドボール、女子バドミントン団体、ソフトボールがベスト16などの結果を残しております。また、吹奏楽部、放送部をはじめ多くの文化部も活躍しています。

→<ホームページはこちら> <http://hirose-h.myswan.ne.jp/>

□ (2) 宮城野高等学校

| <ここでは一人ひとりが輝きます キーワードは「創造的自由」>
| _____

～宮城野高校では、生徒の主体性と自由な発想を大切にします～

5月24日(木)・25日(金)には、生徒主催の体育的行事(体育祭?うん! OK~! いいかんじ~! ☆ウフフ~! ばいばーい!)が盛大に実施されました。

()内が今年度の正式タイトルです。これを見ただけでも、生徒が主体的に作り上げた「手作り感」を十分感じ取っていただけるのではないのでしょうか?!もちろん、タイトルではありません。競技種目の決定やルール作り、進行や審判、開会式や閉会式等々、すべて生徒が企画運営した行事です。こうした行事は、委員会のない本校では、自らの意志で参加し、仲間とともに「校内ボランティア」として作り上げていくものなのです。競技だけで盛り上がるではありません。各ホーム(宮城野ではクラスではなく、ホームと言っています)毎のおそろいのユニフォームも手作り感いっぱいの創意工夫にあふれたものです。ほかに、同じ分野に興味を持つ仲間とともに活動する「サークル」など、主体的に取り組む充実した活動に満ちあふれているのが宮城野高校なのです。

是非、みなさん、宮城野に一度足を運んでみてください。事前にご連絡いただければ、平日ならいつでも学校見学を歓迎いたします。また、下記のオープンキャンパスは申し込み不要です。宮城野の特徴を、輝く生徒を、肌で感じ取ってください。

◎【文化祭+学校説明会】 7月 7日(土) 10:00~13:00

◎【授業等見学+学校説明会】 7月29日(日) 10:00~16:00

→<くわしくはこちら> <http://miyagino.myswan.ne.jp/>

■ 6 編集後記 ■

今回は、16校の情報を掲載しました。情報量が多くなってしまいましたが、できるかぎり各高校の生の情報を掲載したいと考えておりますのでご了承ください。

さて、6月から行われる地区別公立高校合同説明会や公立高校オープンキャンパ

スについても掲載しました。合同説明会で各高校の情報を入手していただき、オープンキャンパスでさらに理解を深め、自らの進路実現へ向けての一助となればと考えております。

これからも高校教育課では、中学生の皆さんの夢の実現のために、県立高校のホットな情報を提供していきます。

「高校教育課 情報メール」をよろしくお願いします！

◇◇高校教育課 情報メール（メールマガジン）◇◇

○発行：宮城県教育庁高校教育課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696
